

④ リアを目標とする女たちの中には、男嫌い、理論嫌い、コミュニティ的自閉化が見られる。




私ほど、さしおの ④ の部類に入ります。本当は男好きなのに、女対象となる男が少なくなるのです。例えば、男といっしょに反差別の運動をやっているとします。でも、女の男は、女を差別しても何かいびきも感じないです、というより差別しているという自覚がないのです。まわりのこんな男たちに失望し、だんだん女だけのコミュニティ的自閉化が始まってきたのかもしれない。

— さらば、何故、金井さんは男たちと共に闘おうとするのか。女が知りたくて「追っかけ」をしまつたのです。私流の答が出ました。単純明快。この世に女と男がいろいろな奴だと思えます。性ということでは、今社会が異性愛を強要している社会でありとわかった以上、同性愛でもいいわけです。しかし、この社会に満足してはなくて、何かしたい、と思っている以上、やっぱりどこかで男と共に闘っていかねければならないのです。

理論好きは学生時代から。男ばかりの合宿では本を開くといつも眠くなる困ったものでした。ところが、金井さんと逢ってから「フェミニズム入門」などという本を謙虚に読んで、「ポストモダン・フェミニズム」もフムフムとページをめくったりしている今日このごろです。

又、「自立」を「権利」という言葉に置き換える、というところでは、『1990y. We 1月号』とリビウ・加藤さんの「Weは男の解放を考へる男性学を生む土壌に於ける」を読んで「労働する権利」「生存する権利」「自己実現していくためにコミュニティの権利」などかみかみと思ひました。「自分のことが見えなくて(女を飛び越えて)障害者・民族の問題は見えておはせよう」「家父長制を温存再生産したままの扶養控除増額やオチ子からの児童手当支給はおかしい」とおどの指摘が心に残りました。(文責、高橋牙鬼)



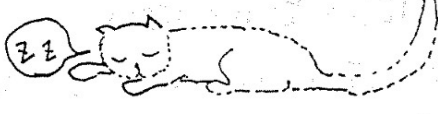
11月
例会
案内

金井さんの会とふり返って

—再度フェミニズム論—

ポストモダンフェミニズム論、フェミニズム入門。
講演のテーマより

とき 11月13日(火) 18:30 ~
ところ 婦人文化 センター レポーター 和田



ちょっと
聞いて!

~周りにこんな人はいませんか~ 号外
即位の礼大嘗祭警備に協力だ! 豊平警察署

〇さんのところにマンガ入りのこんな回覧板がまわってきた。いあわせにあづらの一同、異口同音に「家のことだあー」。以前「国家秘密法に反対する女の会」で、秘密法かーで来た。私たちの生活は密告かーいっはいて、こうなるーという例えあげたかー今またにその通りになってきた。

(マンガは谷川かき直(まひ))

こんな人かいたらすぐ110番へ! 警察署



無差別テロ・ケリラ事件をエスカレートさせないために! だって! こうやって密告を合法化する。

8月31日・9月1・2日

女のからだから in 長野 合宿・1999

-参加記V02-

「セクシュアリティの分科会」に出て

細田英理子

私は最初別の分科会に出る予定だったが、前日「映画トーチソングトリロジー上映会」でレズビアンの方の話を聞いて、いろいろ考えさせられた(衝撃・感銘その他もろもろ)のでこの会に出ることにした。

この分科会はレズビアンとヘテロ(異性愛)の女がセクシュアリティについて率直に語りあおうということでもたれたもの。「今まではフェミニストのこの種の集まりでもレズは珍獣、パンダ扱いでとても答えられないような質問する人が必ずいた。レズビアン側の側もいかに大変な思いをしてきたかを語るが、逆にレズはいかに素晴らしいものなのかを語るかのどちらかだった。今回はこういうふうに両方が自然な形で話し合いできてよかった」という話が出た。本当によい話し合いだったと思う。発言した人達(特にレズビアンの人)はこのセクシュアリティの問題を自分の問題として真摯に考え続けてきた人達なのだと思う。だから言ってることがよくわかったし、出てくる発言一つ一つが胸にしみた。



たとえば「どうしても男と女の間では支配、被支配、縦の関係になりがち。女同士ではそういうことはない」「確かに2人の間だけでは対等に地よい関係かもしれないが、社会からは大変な差別を受ける。レズ、ヘテロ whichever 女は大変」また「女を好きになれたことがある。同性愛と異性愛の境はどこにあるのか。何をもってレズビアンというのか？」に対しては「どんな状態であれ自分がレズであると思った時。本人がそう規定した時」と明快な答。

「レズビアンという言葉は一般的にはポルノの流れの中でしか使われず、あまりよくないイメージの言葉だ。手垢のついてない言葉で呼びたいが適切な言葉がない。ウーマンラヴィングと言ってみたりするか……」

「こういうふうに同性愛のことを普通の会話の中で話題にしていきたいが、そのことで自分がレズであると知られることはまだ偏見の多い社会では大変なことだ。いろいろな場でまずヘテロの女が話題にしてほしい」等々。

話を聞いていろいろ考えさせられた。主催者の一人が「ちょっと前までは自分がヘテロであることに何の疑問ももたなかった。当り前のことだと思っていた。身近な会にレズの人かいて、それではじめて自分の問題として考えはじめた」と発言していたが、私も今同じような

長いけど ネーミングがおもしろい!

どれも分科会の名前です

- 水際のカナヅチの会
- ウエスト80センチで何か悪いネン!
—NON! ミスコンテスト最新情報報告
- 送りこもうせ!! 女たちを地方議会へ
- 女が描く絵は部屋からはみ出す
—キャンパスは教室の壁だ—
- 体で勝負だ! 大ドッチボール大会

この他にも30くらい分科会がありました。どれもおもしろそうでどこに出ようか迷ってしました!

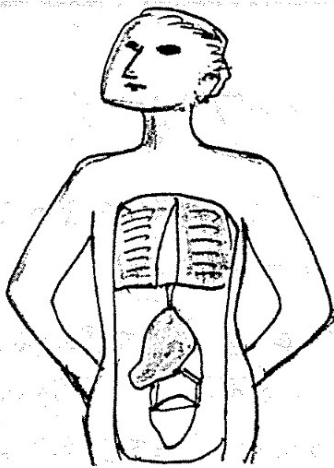
気持ちだ。今までは本や映画を見て他の人より多少なりとも考えている方だと思って
いた。たとえばあじらの例会で「クモ女のキス」をとりあげ「同性愛は不自然か？
文化的、社会的なすりこみはないのか」と話しあっていた。
しかしあくまで他人事だったのだと思う。なぜ自分がヘテロな
のかと問うこともなく、一般論として同性愛、差別のことを語っ
ていた。本を読んだりして頭でわかることと、実際生身の人間と関
わるなかでわかっていくこととは全然違うものなんだなーと実感
した。大勢のレスビアン左ミニスト達と出会えたことはこの合宿での大きな収穫だ
った。



「性教育の分科会」に出て

テーマは「女の視点でー私達はどう伝えたいか」だった。仕事上(私は養護教
諭なので多少関わりがある)でも男女平等の性教育についてもうちょっと考えてみたか
ったので参加した。

グループにわかれて実際模擬授業をした。なかなかおもしろかったが、もうちょ
と時間がほしかったところ。参考資料として数種類の中学保健教科書を使っ
た。改めてじっくりみたか、男女の差異や女性を強調しすぎているように感じた。
たとえば「精通」を説明するのに「父親になる準備」なんて書いてないのに「月経」は
「母親になる準備」だもんね。ホント気をつけなくちゃ。心して授業しないとつい見



のがしてしまおう!

後半は人体模型をみながら粘土で実物大の子宮
作りをした。断面図はよく見るので、形はちゃんとわか
っていたつもりだったが、つくってみてはじめて、立体的に
はこういう形なのかと納得。

それにしても石橋さん(今回の合宿スタッフ)制作の女
の人体模型は実に堂々としていてなかなかよかった。
学校かどこかで買ってこないかなー。 一体200円!
(細田)

反響続々 熱烈あじら

139号で「あじらは読まれているのだろうか」というのを載せたところ、Kさんから「ズビストセウシヨのあじら」
いも読んでいるよだ」Pさんは「楽しみに待っている。どんな人が書いてるのか、話してみたい」Mさんは「すみから
すみまで読まれているよ」「情報欄は便利」などなど。一同、嬉し涙に泣きぬれて、ハナの日曜日も
せせせせと、お菓子をパクパクで食べているヨムン。



合宿の後遺症



榊

なんたって最高にハイになれた合宿でした。

中身も濃かった。出たい分科会がいっぱいありすぎて、涙をのんで他のをあきらめたり、時間がすっごく早く過ぎて、もう一週間くらいあってもいいのにと思ったり。——あの妙に開放的な雰囲気も良かったなあ。半日も経たないうちにもう何日もいるかのように親しい感じがしたり、なんだかとても「自由」な気分だったよ。

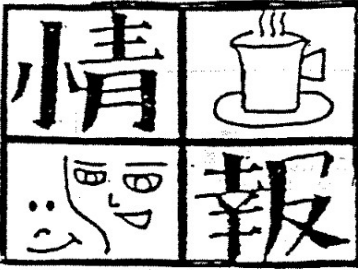
——ここまで書いて数日が経ってしまった。そして今、私なんだか戸惑ってる。私が、今本当に書きたいことは？…って。

私は確かにあの合宿に救いを求めていたわけではなかった。そうではなくて、もっと単純に「わあ、おもしろそう！」と思ったにすぎない…そりゃあ、パンフレットの分科会の目録で一番興味をひかれたのは「子供への性的虐待を考える」だったけど。自分が変わるだろうとか、(自分のために)何かしようとか思ってたわけじゃない。だけど多くの出席者が自分について語ったこと、皆で泣いたこと、そして最後の日、泣きながら抱き合ってた二人を見たとき、なんだかとてもつらかったこと…そんなことどもが、ハイな気分で合宿から帰って来たはずの私に、重い宿題を課したようだった。

私は自分を救ってやらなけりゃいけない。——一年ほど前にはようやく糸口をつかんで意欲的になりつつあったのに、現実でのささいな(?)敗北に打ちひしがれて、自分を救うことに対して私はやや無気力になっていた。

合宿中、アサーティブ・トレーニングの分科会で、思いがけなく私の口からでた言葉は「怒りたい」「叫びたい」だった。そういえば、一時期私は夢の中でささいなことでも怒りまくって、声をふりしぼって叫んでいた。…今ふと二年前に画いていたマンガのことを思い出した。心に傷を負った少女の話だ。それは(ストーリーそのものはできていたが)まだ絵コンテの段階で、少女が「みんな大っ嫌いよ!!」と叫ぶシーンで途切れている。そのときは、「心に傷を負っている少女」を救う役にホモの少年をあてたけれど、後にこの少女を救うのは女性の方が自然ではないかと漠然と思うようになった。合宿を終えた今、それは確信に変わりつつある。——もしかしたらその女性はレズビアンであるかもしれないとも思う。






泊原 発
 癪 炒 に
 11/17 (水) 18:30~

拓銀大作戦呼びかけ人会議
 市民会館 6号会議室
 連絡先 企業責任を問う市民の会
 (611-0911)

北電株主総会
 取消し訴訟
 第1回公判開かる!
 11月7日 10時
 札幌地裁 7階13号法廷
 (中央区大通西11)
 連絡先 664-0632 谷まど 傍聴に来てネ。

 南正人がやってくる
 11月11日 (日) 19:00 開演
 ジッピョイホール (東区北16東1)
 西沢ビル2階
 主催 GARAKUTA企画
 822-2427
 入場料 前売 2000円
 当日 2300円

11月12日 (月)
 大嘗祭に反対する
 11・12 北海道集会
 10:00-12:00 共済ホール
 主催 同集会実行委 (372-4138)
 講演「今なぜ大嘗祭か」藤田省三氏
 集会のあとでモ. 参加費 500円

みんなで語ろう
 わいわいフェスティバル
 11月23日 AM11:00~PM2:00
 社会福祉総合センター
 婦人文化センター隣 (東西線18丁目)
 NONUKES 熱帯雨林。話。リサイクルもあるよ
 主催 ノーノ校のゴミ捨て場
 10,000人フェスティバル
 TEL 613-8441
 東

設立記念講演会
 今時の福祉は 対馬 徳昭
 シンポジウム
 地域で安心して老いるために
 11月10日 1:00~3:30
 市民会館
 主催 北海道の高齢化社会をよく
 する女性たちの会 (781-6489)

あとかき

晩秋。散文的な私も詩が恋になる季節だ。
 詩人たちの磨きぬかれた言葉が胸に(み込んでくる。
 ワーカーホリックをやめて何年になるだろうか。ピンク色の
 ビンバカレッドに深まりつつあるけれど。昔忘れていた
 事や、失った無形のものか、戻ってきているのを感じる。生活必
 需品はハッキリしてはいない。和らさを満たしてくれるもの
 みんな! 空々と何もしない時間を得るのに何年かかっていた。
 谷 百合子

ただ一言で生まれたこと
 死にたくもなるよな言葉
 なで人間は話しあわなう
 あみ人間の会話の所をなす
 無言のうちにえ火花を散らす
 星と星との会話...
 (深尾須磨子
 「人間の会話」より)